



軽井沢配水池

# ＝水＝快適な生活に向けて 十二所地区の一部へ 給水開始

十二所地区に安全な水を安定して供給するために、市では昭和六十三年八月から三カ年計画で十二所地区統合簡易水道事業をスタートさせました。工事は順調に進み、今年四月には一部の地域に給水を開始しています。残る工事の早期完了、そして早期給水をめざして工事を進めています。

## いままでの水事情

十二所地区は、米代川が地区を二分して流れているものの、地質が岩盤でできています。そのため地下での貯水量や水脈が少なく、全般に水が不足していました。

## 工事の概要

この地区では、各戸でもしくは数軒が共同で地下水を汲みあげたり、わき水、沢水を水源としたりと、いわば自然に頼った形で水を利用してきました。大滝と猿間地区にはすでに簡易水道が布設されていますが、この二つの給水能力では十二所地区全域の水を賄いきれない状況にありました。

市は、上水道の給水区域を十二所地区まで拡張することに決定。既設の内、十二所の八地域です。

簡易水道を統合、整備する十二所地区統合簡易水道事業を昭和六十三年度から三カ年の計画で着手しました。  
総工費約十二億円

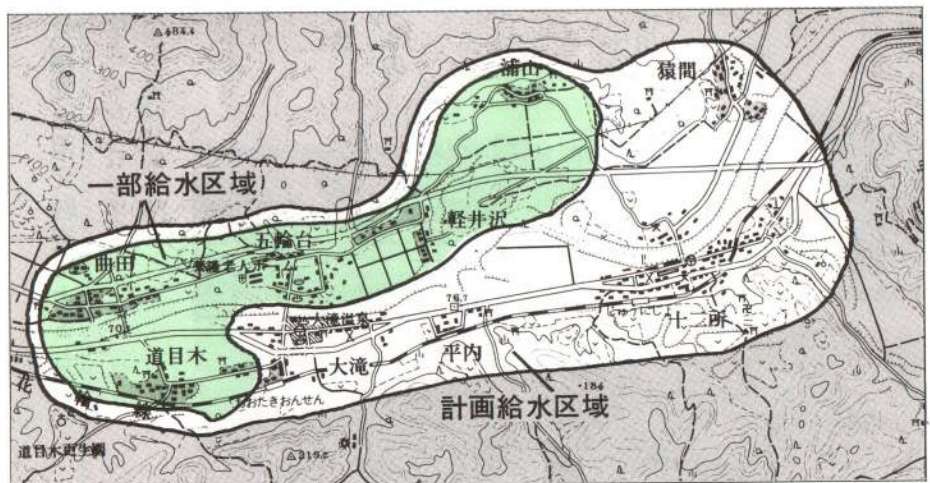


曲田橋欄干の下を通る配水管

## 四地域に給水開始

工事は、二年続きの暖冬などで予定以上に進み、当初の予定の十一月給水が七カ月早まり、四月一日から八地域のうち曲田、道目木、軽井沢、浦山の四地域への給水を開始しています。工事がこのまま順調に進むと、九月ごろには残った四地域へも給水ができるようになる見込みです。

計画での給水量は、一日最大千四百二十八リットルです。給水人口三千五百七十人として現在の施設のほかに大規模



な施設の建設があっても十分に賄えます。一人当たりで算出すると約四百リットル、ドラム缶二本分ほどになります。これからは、水不足の心配のいらない快適な生活ができるようになります。

道路の工事で車の通行などにご不便をおかけしています。ご協力をお願いいたします。